戦略的CSRリサーチのご案内

（CSRプログラム・モニタリング）

アールビーシー 株式会社 （**RBC, Inc.**）

***RBC*, Inc.**
Fonte Aoyama 5F, 2-22-4, Minami Aoyama, Minato-ku, Tokyo 107-0062, JAPAN, Tel: 81-3-5413-1241, Fax: 81-3-5413-1245

RBCの戦略的CSRリサーチのご案内

RBC, Inc.

- アールビーシー株式会社（RBC）は、1961年の創業以来、国内外のクライアント企業を対象として、リサーチに基づくインテリジェンス情報を戦略策定のベースとする実践的コンサルティング会社です。

- 近年、国内主要企業においてCSRの概念が急速に浸透し、わが国主要企業は、企業理念・行動規範の改定、CSRレポート発行など, CSRのプラットフォーム整備を急ピッチで進めています。CSRがコア事業を活かした「戦略的CSR 」へと進化していく中で、RBCは、精度の高い情報を的確に収集しクライアント企業の戦略作成の支援を行っております。

- そのような中で、RBCは「 **CSRパーセプション・モニタリングスタディ**」を開始しました。 本プログラムはクライアント企業のCSRポジショニングとステークホルダー間に存在しているCSRへの期待、調和、誤解などのパーセプションギャップを明らかにし、クライアント企業の戦略的CSRプログラムを支援していくものです。

Copyright © RBC, Inc. All Rights Reserved

RBCの「CSRパーセプション・モニタリングスタディ」の目的

RBC, Inc.

- RBCのCSRパーセプション・モニタリングスタディの目的は、現在行われているCSR活動に関し、次の三点の検証をするためのものです。

  1）　**貴社業界に於ける自社CSRプログラムのポジショニング分析**

  2）　**自社CSRプログラムと競合企業CSRとの比較分析**

  3）　**自社CSRプログラムとステークホルダー間のパーセプションギャップの検証と提言**

- このCSRモニタリング調査と分析により、貴社業界に於ける会社のCSRプログラム・活動のポジションを明らかにし、同時に、ステークホルダーのパーセプションと貴社が期待するCSR像とのギャップ明確にし、CSRコミュニケーションを調整し、「戦略的CSR 」の実践を強化していきます。

Copyright © RBC, Inc. All Rights Reserved

「戦略的CSRパーセプション・モニタリングスタディ」のプロセス

このCSRパーセプション・モニタリングスタディは、次の三つのプロセスで構成されます。

1．ﾎﾟｼﾞｼｮﾆﾝｸﾞ分析：

業界・競合企業CSRプログラムと貴社CSRのポジショニング分析

業界のCSR動向、競合他社のCSR活動と貴社のCSRを比較分析し、貴社CSRの特徴・位置づけを把握します。

2．ﾊﾟｰｾﾌﾟｼｮﾝｷﾞｬｯﾌﾟ分析：

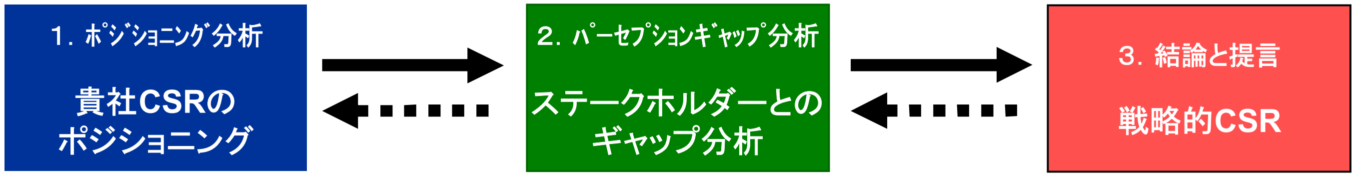
CSR活動に対する貴社ステークホルダーの理解や認識のギャップ分析・検証

CSRプログラムは年々進展していくものと考えられているため、調査対象となるステークホルダー・マッピングを適宜行って、ギャップ分析を行います。

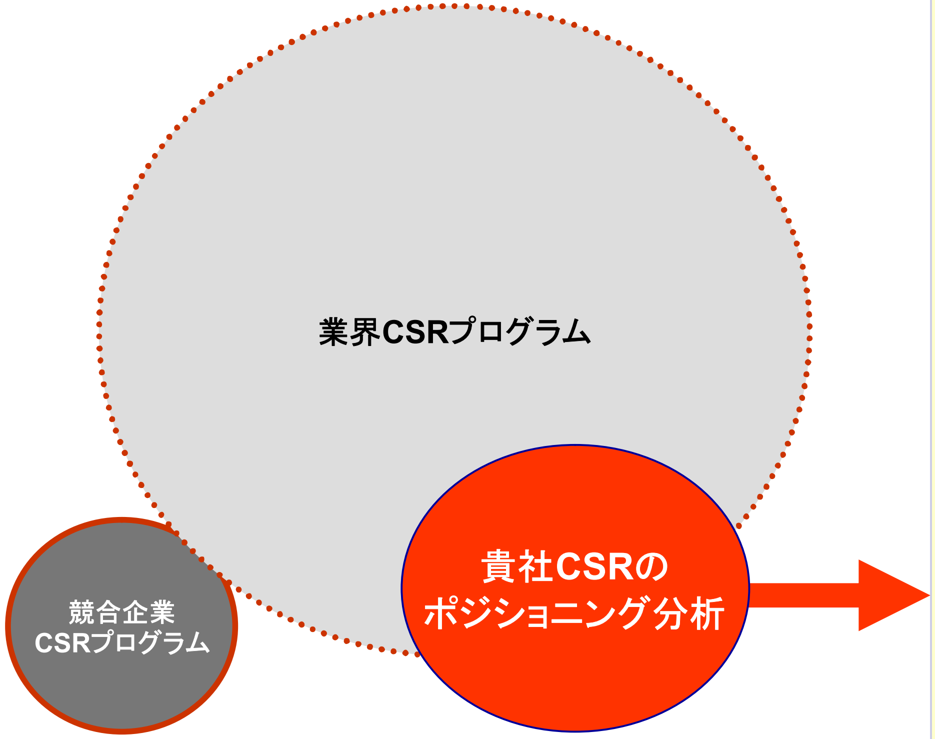
3．結論と提言：

CSRマネジメントの調整及び戦略的CSRの提言

1、2での把握・検証した事実に基づき、本業にしっかりつながった「戦略的CSR」の実践とコミュニケーションの改善・管理を行なわなければなりません。
そしてCSRプログラムには、ポジショニングのフィードバックと共に、広い視点から自社ステイクホルダーに対するギャップのモニタリングが必要です。



Copyright © RBC, Inc. All Rights Reserved



1：　業界・競合企業CSRとのﾎﾟｼﾞｼｮﾆﾝｸﾞ分析

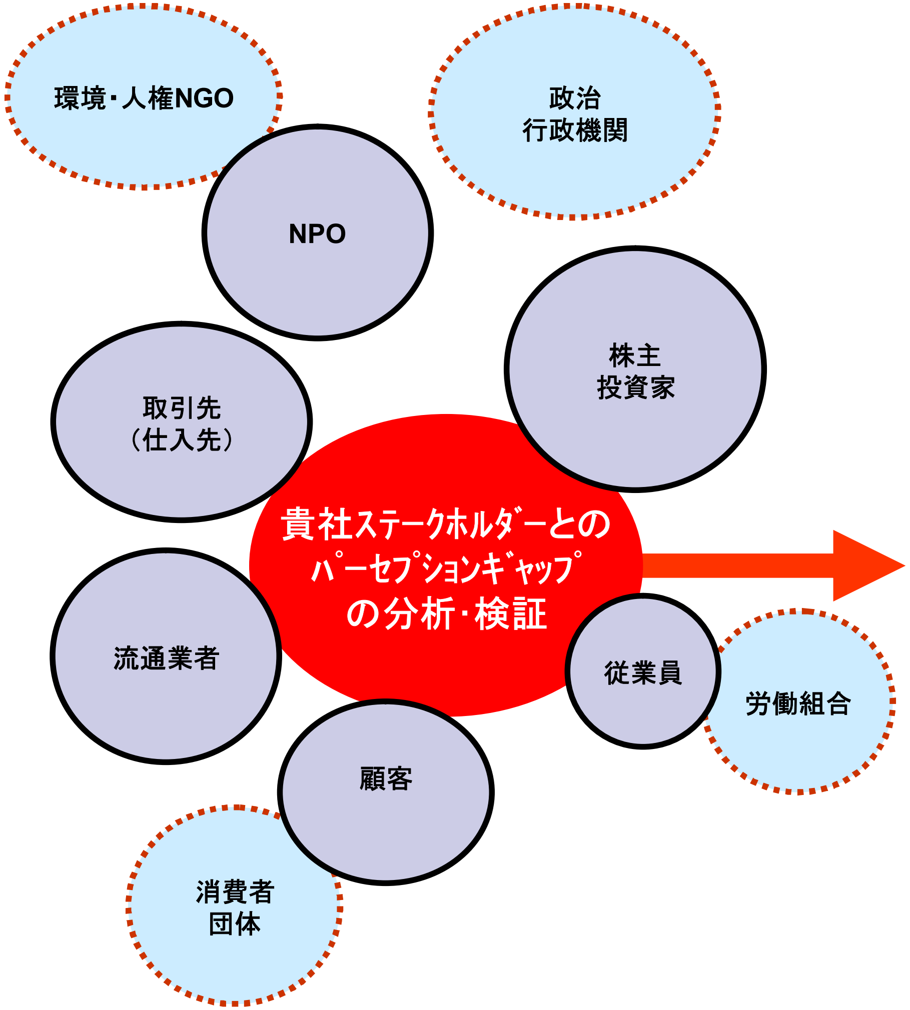
このプログラムの目的は、業界並びに競合企業におけるCSRプログラムと貴社CSRとを比較・検証し、貴社CSRとの違いとその背景、並びにCSRの今後の検討課題・特徴を明確に理解していくプログラムです。

- 業界におけるCSRの動向分析
- 業界ｴｷｽﾊﾟｰﾄへのﾊﾟｰｾﾌﾟｼｮﾝｲﾝﾀﾋﾞｭｰ
- 競合企業に於けるCSRﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑの分析
- 貴社CSRﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの比較分析

RBC「戦略的CSR」の概念は企業が抱える社会的責任の課題を貴社のコアとなる事業活動に密接に関連させていくことで、サステナブルな「戦略的CSR」の遂行を図っていくことにあります。

Copyright © RBC, Inc. All Rights Reserved

「戦略的CSRパーセプション・モニタリングスタディ」のプロセス　―　2）　RBC, Inc.



2：　ﾊﾟｰｾﾌﾟｼｮﾝｷﾞｬｯﾌﾟの分析・検証

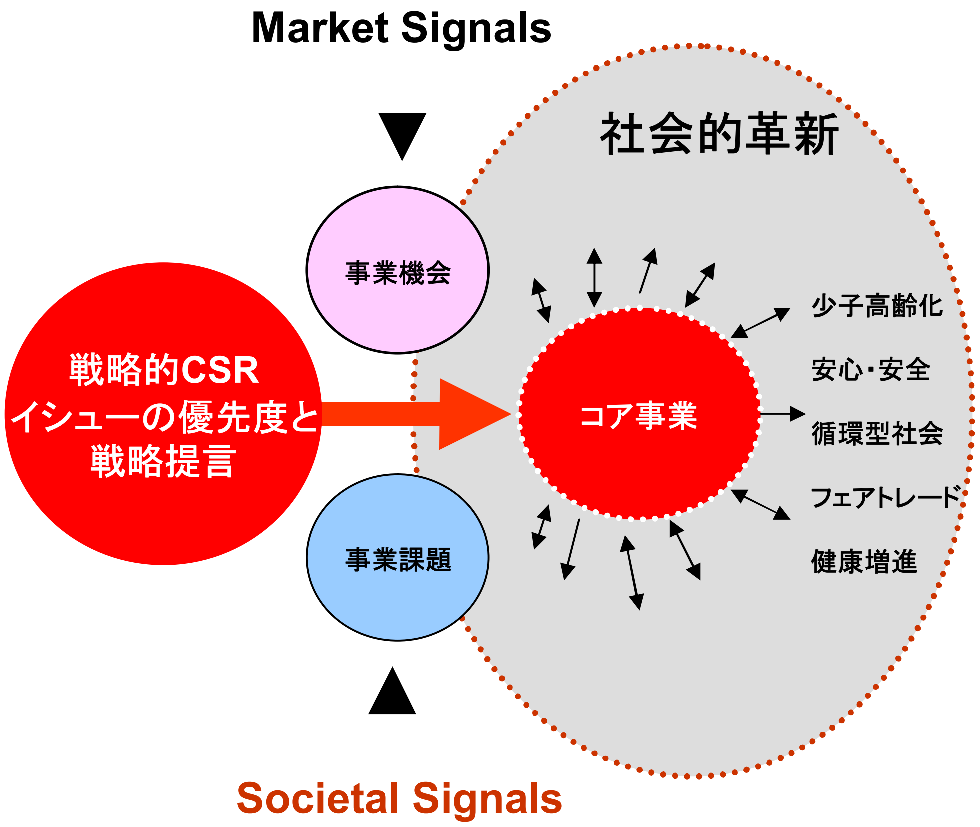
このプログラムの目的は、貴社の目指す経営姿勢を具体化したCSRメッセージをステークホルダーはどのように認識しているか、そのパーセプションギャップを検証していきます。

- 貴社の現状のCSRﾒｯｾｰｼﾞに対する理解度
- 好意的・敵対的ｽﾃｰｸﾎﾙﾀﾞｰの認識とﾏｯﾋﾟﾝｸﾞ
- 社会貢献型NPOへのﾊﾟｰｾﾌﾟｼｮﾝ調査
- 機関投資家へのﾊﾟｰｾﾌﾟｼｮﾝ調査
- 行政機関・ｵﾋﾟﾆｵﾝﾘｰﾀﾞｰ等へのﾊﾟｰｾﾌﾟｼｮﾝ調査
- ｽﾃｰｸﾎﾙﾀﾞｰが期待する貴社CSRｲｼｭｰ分析
- CSRとｽﾃｰｸﾎﾙﾀﾞｰとのﾊﾟｰｾﾌﾟｼｮﾝｷﾞｬｯﾌﾟ分析

CSRはｽﾃｰｸﾎﾙﾀﾞｰの期待を経営に反映し、ﾋﾞｼﾞﾈｽ社会に於ける本業のｻｽﾃﾅﾋﾞﾘﾃｲを構築していくための究極的な経営戦略です。ﾊﾟｰｾﾌﾟｼｮﾝ・ｷﾞｬｯﾌﾟの存在と解消を目指すものです。

Copyright © RBC, Inc. All Rights Reserved

「戦略的CSRパーセプション・モニタリングスタディ」のプロセス　－　3）



3：　CSRイシューの優先度と戦略提言

このプログラムの目的は、パーセプションリサーチ分析に基づき、CSRイシューの優先順位を設定し、本業を通じた「戦略的CSR」の実践をご支援するプログラムです。

◆ 貴社の戦略的なCSR構築の支援
- CSRとｽﾃｲｸﾎﾙﾀﾞｰとの認識度合いの検証
- CSRｲｼｭｰの優先順位検証
- ｷﾞｬｯﾌﾟ要因に対する改善・対応策
- CSRｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ戦略の構築
- NPOパートナーシップ等の選定

◆ 貴社のCSRコミュニケーション戦略の支援
- 経営戦略と戦略的CSRの統合支援
- メディア、専門機関向けCSRメッセージ検証と対策

RBCでは、貴社がコア事業においてサステイナブルな企業成長を図るためのCSR戦略課題をより明確にしていきます。

Copyright © RBC, Inc. All Rights Reserved

CSRプログラムに関するお問合せは、

info@rbc.co.jp もしくは、

03-5413-1241までお願いいたします。

Copyright © RBC, Inc. All Rights Reserved